

コロナ禍への対応

2020 年 4 月 30 日

心理学部 / 人文学部人間心理学科学生の 保護者の皆様へ

心理学部長 秋山 学

保護者の皆様には、新年度の始まりが遅れ、お子さまの大学生活などでご心配も多々おありになろうかと存じます。今回は、5月11日から開始する今年度前期の授業日程や授業の進め方などを保護者の皆様にお知らせいたします。お子さまの健康を守ることを優先し、安心・安全な環境で教育を行うため、心理学部（1年生～3年生）/人文学部人間心理学科の取り組みをお伝えします。

■ 授業期間：5月11日（月）から8月7日（金）まで

前期授業は5月11日から遠隔（オンライン）授業を行います。授業開始が遅れるため、8月7日まで延長して授業を行います。この延長により5月まで休講した授業を補い、心理学部/人文学部人間心理学科としての教育内容を確保いたします。

■ 遠隔（オンライン）授業を実施

遠隔（オンライン）授業は教室内の授業に準ずる形で行います。遠隔（オンライン）授業に関しては、同封いたしました資料（全学教育推進機構長（本学副学長）などからのメッセージ）も合わせてお読みください。

■ 大学からのメールチェックのお願い（1日に最低1回）

遠隔（オンライン）授業を受けるためにも、大学アドレスのメールを1日に最低1回は必ず確認することをお子さまにご指導いただきますようお願いいたします。授業に関する連絡も、学内情報サービスを通して、大学からのメール（学生の大学アドレス）に届きます。

■ オンデマンド方式（ビデオ通話方式とは異なる）の講義が中心（心理学部として）

心理学部/人文学部人間心理学科学生の遠隔授業はパソコンやスマホを使ったビデオ通話方式（リアルタイム遠隔授業）とは異なるオンデマンド方式の授業を中心とする予定です。これは、ビデオ通話方式に問題点や不安定性が指摘されていることを考慮し、安心・安全な学習環境を守るための取り組みの一環として行います。ただし、授業によっては、ビデオ通話方式（リアルタイム遠隔授業）も部

分的に利用する場合があります。

オンデマンド方式の授業では、予め指定された期間内に本学が提供する e-ラーニング用システムから教材を入手し、学習を行います。指定の期間内には質問することができます。授業では何かしらの課題が出され、小テストを頻繁に行う授業もあります。

■ 5月1日（金）に心理学部/人文学部人間心理学科の専門科目に関するお知らせも配信

5月1日に初回授業（専門科目）に関する重要なお知らせを配信する予定です。学生が滞りなく授業を受けられるようにするための重要な情報を連絡いたします。必ず確認するようにお子さまにご指導いただきますようお願いいたします。

2回目の授業以降に関する連絡は授業用配付資料に記載する場合があります。

■ 成績評価は課題やレポートの提出とその評価、小テストの成績などを総合的に評価

前期授業の成績評価は定期試験を行わず、課題やレポートの提出とその評価、小テストの成績などを総合的に評価して行います。

新入生は、4月21日に抽選科目の申し込みを行い、大学で受講する授業を決める第一歩を踏み出しました。また、この科目の抽選の結果、お子さまの指導教員も決まっております。大学生活での疑問や心配していることはメール等で指導教員に相談するようお伝えください。大学生活の始まりは初めてのことばかりで、心配することも多いと思います。心理学部教員と一緒に乗り切っていきましょう。

学習面などの不安や心配なことがありましたら、気軽に指導教員に相談するようお伝えください。また、奨学金・奨励金などのご相談、お子様の不安や悩みに関する本学の相談窓口を別紙にまとめております。ご活用ください。一刻も早い収束に向け、一緒に困難を乗り越えていきましょう。

最後になりましたが、心理学部教員一同、お子様の教育の機会および教育内容を提供するため、新しい学びのスタイルを構築するべく、真摯に努めて参ります。保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。依然厳しい状況が続きそうですが、どうかくれぐれもご自愛ください。

神戸学院大学 各種相談窓口



学生生活に関する相談窓口を以下のようにまとめております。
パソコンやスマートフォンで、相談窓口を確認されたい方は右のQRコードを読み込み、本学ホームページ上の情報をご覧ください。

■ 経済支援（奨学金・奨励金制度等）に関するご相談

『学生支援センター（奨学金）』

日本学生支援機構の奨学金、大学独自の奨学金、学外の奨学金など、あらゆる奨学金を取り扱っています。新型コロナウイルス等の影響により、家計状況が急変した場合の相談も受け付けています。

TEL: 有瀬キャンパス 078-974-1607

■ 大学生生活全般（証明書、通学、下宿、事故・トラブル等）に関するご相談

『学生支援センター（学生生活）』

電話でのご相談を受け付けています。

TEL: 有瀬キャンパス 078-974-1473

■ 学生の不安や悩みに関するご相談

『学生の未来センター』

新型コロナウイルス感染症の影響で、今後の学生生活に関する不安や悩みごとがある場合は、こちらにお電話ください。電話でのご相談を受け付けています。緊急を要する場合は事前予約の上、個別面談も可能です。

TEL: 078-974-4158・080-4077-2854

MAIL: gakuseimirai@kobegakuin.ac.jp

■ 授業や履修に関するご相談

『教務センター』

電話でのご相談を受け付けています。

TEL: 有瀬キャンパス 078-974-1725

■ 就職活動に関するご相談

『キャリアセンター』

就職活動について緊急の用件が発生した場合に、電話でのご相談を受け付けています。

TEL: 有瀬キャンパス 078-974-5813

■ ハラスメントに関するご相談

『ハラスメント相談室』

電話でのご相談を受け付けています。

TEL: 078-974-4325

MAIL: hsroom@j.kobegakuin.ac.jp



学費・授業料に関する支援制度のご案内

(2020/04/28HP 掲載内容)

新型コロナウイルスの影響で、各ご家庭の収入等に影響が出たり、アルバイトができなくなった学生もいると思います。下記に、現時点で、神戸学院大学が対応できる支援制度をまとめました。また、大学独自の経済支援給付奨学金の二次募集等も検討しています。新型コロナウイルス等の影響により、学業継続が困難となった場合は、まずは学生支援センター(奨学金担当:裏面参照)にご相談ください。また、本案内は本紙右上の QR コードを読み込み、ご覧いただけます。

1. オンライン授業の実施に伴う特別奨学金(給付)

本年 5 月 1 日現在の在学学生(学部学生、大学院生)の全員に対して、オンライン授業の実施に伴う特別奨学金として、一律 5 万円を支給します。5 月末までを目途に支給しますが、支給方法については現在検討中です。決定しましたら、改めてご案内します。

2. 日本学生支援機構の奨学金制度、国による高等教育修学支援新制度

新型コロナウイルス感染症の影響で学費等支援が必要になった学生に対する奨学金があります。前期については、8 月振込の募集が追加され、後期には 12 月振込の二次募集もあります。制度の詳細については、日本学生支援機構のホームページをご参照ください。相談・申し込みについては、学生支援センター(奨学金担当)にご連絡ください。

- 給付奨学金(家計急変)【日本学生支援機構】【学部生】
- 高等教育修学支援新制度【文部科学省】【学部生】
- 貸与奨学金(第一種 緊急採用(無利子)・第二種 応急採用(有利子)【日本学生支援機構】【学部生・大学院生】

【申込方法】

- ◆ 学部生、大学院生の新規申し込み(定期採用)は、すでに終了しておりますが、学部生については、再募集を行います。日程は近日中にホームページでお知らせしますので、必要な方は、ホームページをご確認のうえ、申込を行ってください。※緊急の場合は、随時相談を受け付けておりますので、ご相談ください。
- ◆ 高校時の予約採用者のお手続きを済まされていない方は、至急、学生支援センターまでご相談ください。

3. 学費分納制度

本学では、学費を一括で納入することが困難な方に対して学費分納制度を設けています。

従来は前期学費を 4 回に分けて、4~7 月に納入する形でしたが、今年度は新型コロナウイルスの影響を考慮し、前期学費を 2 回に分けて 6 月末と 7 月末に納入する形へと変更しました。また、受付期間を 5 月 15 日(金)までに延長いたしました。

4. 前期学費等の振込期限の延長(6 月 30 日まで延長)

2020 年度前期の学費等振込用紙を 4 月上旬に送付いたしましたが、振込期限を 4 月 30 日(木)から 6 月 30 日(火)まで延長しました(延滞料不要)。詳細は上記 QR コードを読み込み、該当箇所の URL にてご確認ください。

5. 神戸学院大学 学部生・大学院生 支給奨学金(経済支援給付奨学金)

大学独自の経済支援給付奨学金として、支給奨学金を設けております。2020 年度前期の申込受付は終了しましたが、二次募集等を検討しております。詳細が決まり次第、ご案内いたします。

以 上

コロナ禍への対応

2020年9月10日

心理学部 2020年度後期授業について ～保護者の皆さまへ～

心理学部長 秋山 学

今年度前期授業がすべて遠隔授業となり、期待されていたお子様の大学生活が様変わりしてしまいました。保護者の皆さまも、自宅や下宿先で遠隔授業に取り組むお子様を見守ることへの気遣いやご苦勞も絶えなかったことと存じます。

後期の心理学部の授業は、本学学長からのメッセージにもありますように、国家資格である公認心理師の養成を行う学部として、実習を中心とする一部の授業を原則として対面授業により実施します。心理学部の教育として、実習教育に力を入れているためです。実習では学生自身がいろいろな課題や作業を周囲の学生とともにやり、心理学の学びを深めていきます。心理学部では、公認心理師という国家資格取得を目指して学修に励む学生も多数います。後期に原則、対面授業を行う科目は、公認心理師の受験資格の条件として、教員や学生同士が対面状況で実習を行うことが必要である科目でもあります。

ただし、実習授業を対面で実施するために、それ以外の科目は遠隔授業が中心となります。後期に教室や実習室内で十分なソーシャル・ディスタンスを取ることを踏まえると、今までの倍以上のスペース・教室を必要とします。15名のゼミでも50名規模の教室で行う必要があります。大学内の教室の数や教室の大きさには限りがあります。心理学部が実習で従来よりも多くの教室を確保すれば、他学部も含め、同じ時限に開講される講義との調整も必要になります。ソーシャル・ディスタンスを確保して、対面授業を実施するのに十分な広さを備えた教室が大学では足りません。こうした教室が不足する状況は、他大学でも同様に生じています。そのため、残念ではありますが、対面授業出席のため大学に登学する機会は、皆様の期待より少なくなることへご理解を賜りたいと存じます。

対面で授業を実施するために、お子様にはソーシャル・ディスタンスの確保、手指消毒の徹底、登学にあたって事前に『神戸学院大学体温・風邪症状チェック表』を作成・持参することなど、新たにお願いすることも多くなります。これは、学生や保護者やご家族そして教職員の健康を護ることを優先し、安心・安全な環境で教育を行うことを心理学部として大切にしているためであります。心理支援を通して心の健康と保持増進に役立つ公認心理師を養成することを学部教育の主な目標の一つとする心理学部の方針をご理解いただきたいと思います。

心理学部で学ぶ学生の保護者の皆さまには、お子様の同級生や教員の中に配慮が必要な方々がいることにも思いをはせていただきたいと思います。基礎疾患を抱えている学生、高齢の祖父母と同居し

ている学生，身体の弱い教員，障がいを持つ教員，高齢の教員の中には，キャンパスに来て対面で授業に参加することが難しいケースもあります。対面での授業を行いたくてもそれが出来ない教員，参加したくても大学に来られない学生もいることを想い，寛容に受け止めていただけますとありがたく存じます。

後期も遠隔授業は継続してまいります。新型コロナウイルス感染症拡大により，私たちの暮らしや学校，そして，職場において急速にオンライン化が進んでいます。これまでのような SNS の活用に加え，職場では Web 会議が行われており，就職活動も会社説明会やインターンシップはもはや Zoom が主流です。カウンセリングではオンライン・カウンセリングの利用，医療でもオンライン診療の試みが始まっています。このようにコミュニケーションのスタイルが変化することには長所もありますが，大きなストレスも伴います。この激動の時期における心の安寧や健康を考えることは，社会の中で心理学をどのように活用するかを考える生きた学びでもあります。遠隔授業やオンラインでのコミュニケーションの中で感じる事，再開される対面授業のコミュニケーションの中で感じる事，双方の利点と課題を学生が自ら考え，自分にあった学びのスタイルを見つけていくことは，心理学の理解を深めるチャンスです。この急激な変化の中で，今後ますます心理学的な知見は必要とされるでしょう。

新型コロナウイルスによって大きく変わりゆく社会に振り回されるのではなく，ポストコロナ社会を見据え，新しい社会を乗り切る知恵やアイデアを保護者そして学生の皆さまと心理学部教職員と一緒に考え，ともに乗り切っていく 2020 年度後期でありたいと思います。最後になりましたが，心理学部教員一同，学生の大学での学びにふさわしい教育活動を提供するため，新しい学びのスタイルを構築すべく，真摯に努めて参ります。保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますよう，謹んでお願い申し上げます。感染予防に関して気の抜けない状況が続いておりますが，どうかくれぐれもご自愛ください。